フィールドタープヘキサDX・ST／組み立て方法

1 パーツを確認します

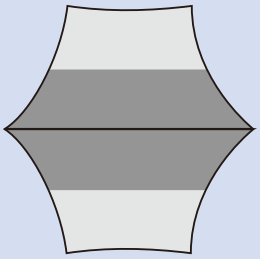
ヘキサDXテレスコピック式、最長250cm／2本

ヘキサST 最長240cm／2本

ペグ（長）／4本 ペグ（短）／4本	張り綱（長）／4本 張り綱（短）／4本	金づち／1本

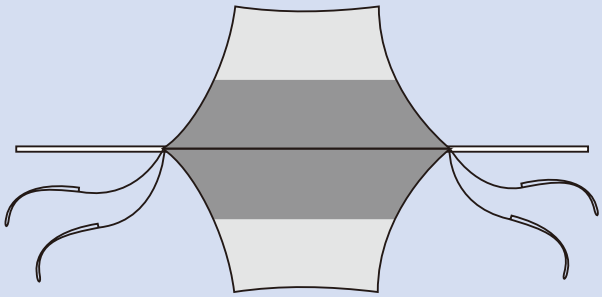
幕体と上記のパーツがセットされているか、確認します。

2 幕体をひろげます



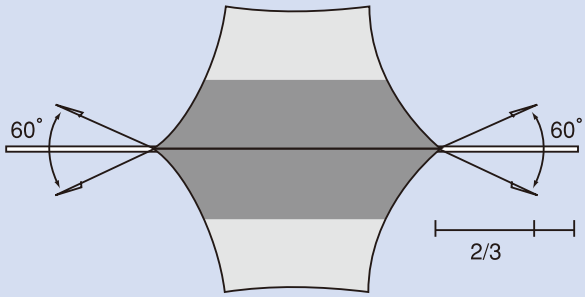
平らな場所を選び、幕体を広げます。設営後は幕体の大きさよりも広いスペースが必要になりますので周囲に余裕をみておきます。

3 ポールを配置し、張り綱を取り付けます



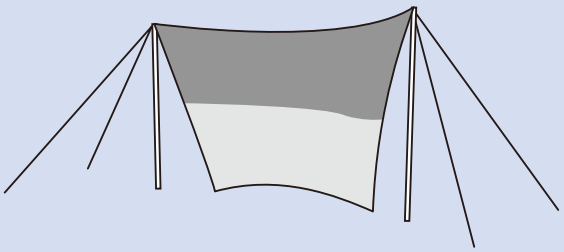
接続したポールを幕体中心の延長線上に配置します。このときに、張り綱をリング部に結び付けます。ポールの先端が入る部分には長い張り綱を2本づつ結び付けてください。

4 ペグを打ち込みます



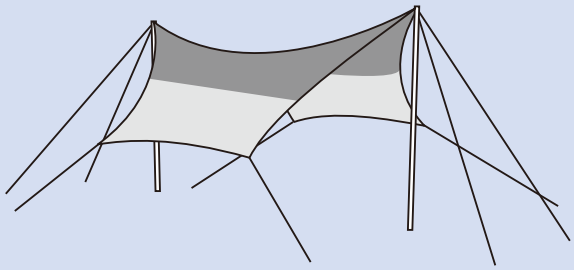
ポールの全長の3分の2の距離でポールを中心にして60度の角度の場所にペグを打ち込みます。

5 ポールを立ち上げます



ポールがまっすぐ立つように片側づつ張り綱の長さを調節しながら立てていきます。逆側も同じように立てます。このとき先に立てたほうを誰かが支えておくようにします。2本とも立ったらロープの長さを再度調節します。

6 張り綱を調整し完成です



側面の裾部のリングにも短い張り綱を1本づつ結びつけペグで固定します。ペグはコーナーの対角線の延長線上で、幕体に一番シワのない位置に打ち付けます。全て固定したら張り綱の長さを再度調整し完成です。

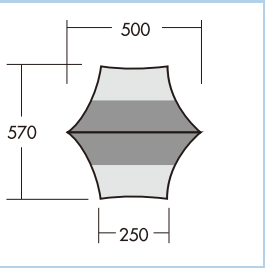
OGAWA CAMPAL http://www.ogawa-campal.co.jp
株式会社 小川キャンパル
本社/〒135-0031 東京都江東区佐賀1-5-4 アーバンサガ３Ｆ
TEL (03)3641-7128 FAX (03)3641-3972
■東京営業所／ TEL (03)3641-7128 FAX (03)3641-3972
■大阪営業所／ TEL (072)962-1015 FAX (072)962-1018
Ogawa カスタマーサービス係
03-3641-7127

取扱説明書

保管用

フィールドタープヘキサDX
3333

フィールドタープヘキサST
3332



◆ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

MADE IN CHINA

安全上のご注意

キャンプにでかける前に良く読み、必ず一度建ててみてください。
⚠ 記号は警告・注意の内容であることを表します。

⚠警告

誤った取扱いをした時に、死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。

キャンプにでかける前に、取扱説明書通りにポール・幕・付属品がセットされているかを確認し、必ず一度組み立ててください。まれに縫製上の不備やセットミスなどにより、テントが建てられない場合があります。テントを収納する時は、ペグ、張り綱、ポールなどのパーツの数量を確認してください。

海外で使用される場合は、事前に弊社の「お客様相談室」までご相談ください。

本製品は、日本国内での使用を前提としております。海外で使用し、事故などによりケガや損害が生じた場合、十分な対応ができません。

「取扱説明書」をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

ここには安全上に関する重大な注意事項を示しています。製品を安全に正しくご使用頂き、危害や損害を未然に防止するために、必ず守ってください。

キャンプ場やキャンプ許可地域以外では使用しないでください。

キャンプ場以外でのキャンプは、基本的に禁じられています。また、熟知していない土地では、どのような危険がひそんでいるか分かりません。特に河原でのキャンプは、雨やダムの放水などにより、急に増水することがあり危険です。

タープの下やタープの近くで花火やたき火をしたり、ランタン・キャンドル等の火気や燃焼器具を使用しないでください。

テントに防水加工生地が施されている生地は熱に弱く、燃えやすくなっており非常に危険です。また、突風などによりポールが倒れ、タープが上からかぶさり、引火する危険があります。

⚠注意

誤った取扱いをした時に、人が傷害を負ったり物的損害の可能性がある内容を示しています。

ポールを扱う場合には、周囲に十分気を配りながら、事故やケガなどないよう設営してください。

ポールは細く長いため、周囲にいる人（特に子供）の目に刺さったり、車などにキズつける可能性があります。

通行する人の妨げにならないようにタープを設営してください。

通行する人が、張り綱などを避けようと無理な通行をして、ケガの原因になることがあります。昼夜を問わず、通行する人が分かるような目印を張り綱に付けたり、タープのそばに通路を確保してください。

張り綱は指定された数を、きちんと張ってください。またペグはしっかり打ってください。

風でタープが飛ばされたり、水が溜まってタープがつぶれる危険があります。タープが吹き飛ばされた場合には、人や車、他のテントなどに当たって大きな損害になる可能性があります。また、ペグの頭が地面に触れるまで、しっかり打ち込んでください。ただし、設営する地面の状態や地質に応じてご使用ください。

就寝時や、強風時、雨天時にはタープを倒した状態にして、しっかり固定しておくか、畳んでください。

夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風で外れたタープや倒れたポールなどで、タープの下の道具が壊れたり、雨水が溜まってタープがつぶれる危険があります。

タープはペグ・張り綱で固定する前は、突風などでタープが飛ばされないように注意してください。

周囲で火気を使用している場合、飛ばされたタープに引火する危険があります。

付属のペグ、張り綱をすべて使用し、タープがたるまないように組み立ててください。

タープ生地がたるんでいる状態では、雨天時、天井などに溜まった雨水でタープがつぶれたり、風の力が余計にかかって飛ばされる原因になることがあります。ペグは根本まで地面に打ち込み、張り綱は強いテンション（張力）を保つようにしてください。

タープを無人の状態で長時間、放置しないでください。

急な天候の変化等により、タープがつぶれたり、飛ばされる可能性があります。その場から長時間離れる場合にはタープを倒して、飛ばされないよう重りを乗せるなどしてください。

台風や、落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。

悪天候の時には、タープの下は安全な場所ではありません。台風など強風が吹いている場合には、タープを設営しないでください。もし、設営している場合には、すぐに撤収してください。また、雷雨時は、タープやポールに落雷する可能性もあり危険です。なお、キャンプ場内の避難場所は、必ず事前に確認しておいてください。